

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策1
県民の総力を結集できる行政の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 県民対話室長 錦織洋子 電話番号 22-5731

事務事業の名称	広聴事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	聴取した県民意見を県の施策に反映することにより、県民サービスの向上を図る
事業概要	知事広聴会、県政世論調査、しまねWebモニター、県民ホットラインなど広聴事業を通して把握した県民の意見を県施策に活かす。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	知事広聴会で対話した県民の総数	目標値		720.0	730.0	740.0	750.0	人
	式・定義	知事広聴会で対話した県民の総数	取組目標値						
			実績値	710.0	540.0	422.0			
			達成率	-	75.0	57.9	-	-	%
2	指標名	「県政世論調査」及び「しまねWebモニター」のアンケートに回答した人の総数	目標値		3,760.0	3,770.0	3,780.0	3,800.0	件
	式・定義	「県政世論調査」及び「しまねWebモニター」のアンケートに回答した人の総数	取組目標値						
			実績値	3,742.0	3,553.0	3,495.0			
			達成率	-	94.5	92.8	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	5,363	6,945
うち一般財源 (千円)	5,363	6,945

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 平成29年度は、計73回知事広聴会を開催し、述べ422人と対話を行った。
- 近年の知事広聴会の回数は100回前後で推移しているが、平成29年度は前年度と比べ減少。(H28:92回→H29:73回)
- 平成29年度の「県政世論調査」の回答回収数は1,255件。「しまねwebモニター」の回答数は2,240件。計3,495件の回答を得た。
- 近年の県政世論調査の回答回収数の平均は約1,300件で、平成29年度は前年度と比べ3%増加。(H28:1,224件→H29:1,255件)
- 近年のしまねwebモニターの回答数の平均は約2,300件。平成29年度は、前年度と比べ3%減少。(H28:2,329人→H29:2,240人)
- しまねWEBモニターの登録者は、平成30年5月で602名(H29:331名)。うち39歳以下の登録者は、203名(H29:56名)。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- しまねwebモニターの登録者は、前年度に比べ、271名増加した。(対前年比81.9%増)
- また、39歳以下の登録者は、147名増加した。(対前年比262.5%増)
- 全市町村において、登録者がいることとなった。(H29:17市町村)
- これらは、平成30年3、4月に実施したFacebook広告の効果によるものである。
- その結果、平成30年度第1回調査の回答者数は376名となり、平成29年度第1回調査時の回答者231名より145名増加した。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- しまねwebモニターの20代以下のモニター登録者は、前年に比べ43人増加したが52人で、他の年代と比較して少ない。(H29:9人)
- また、しまねwebモニターの登録者は、全ての市町村でいることとなったが、1名の町村も2ある。

②困っている状況が発生している「原因」

- 若年層のしまねwebモニターについての認知不足

③原因を解消するための「課題」

- webモニターについて、若年層を含めた認知の向上を図る必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- しまねwebモニターについて、島根県立大学等と学生に対する効果的な周知について協議するとともに、コンビニエンスストアへの配架や、若年層を含めた登録者の増加を図る。
- また、各市町村への募集チラシの配架、各種イベントでの配付や広報誌での募集告知の依頼を行い、県内全域でのモニター登録者数の増加を図る。